

令和元年度 事業報告

(事業概要)

令和元年度の我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復していたが、令和2年度になり、新型コロナウイルスの感染拡大により急速に落ち込んできた。県内42シルバーの共通課題は会員の増加対策と新規就業開拓であり、苅田町シルバー人材センターの課題も同様であることから現在取り組んでいる改革5ヶ年計画（業務改善、組織改善、事務改善）を具体的に実行する初年度となった。この計画の本旨はこれから長期的に継続可能な経営ができること、さらにセンターの認知度と信頼を高めるための体質改善となるので今後も全力で取り組んでいく。

財務や就業状況については受託事業収益において町内大手企業への新規就業の依頼、会員就業中の企業訪問を実施し更なる就業機会の増加をお願いし、契約金額は昨年度とほぼ同額の94,099千円、会員数は同数の223名となった。

安全就業に関しては安全パトロール、石飛防止ネット対策等により1件（昨年度5件）の発生となった。今後とも「安全は全てに優先する」を念頭に職員、会員の安全意識の高揚を図り災害ゼロを目指す。

総合福祉会館の指定管理は期限切れとなった来年度以降5年間引き続き指定管理を受けることになった。

以下、令和元年度の事業実施内容を報告します。

(受託事業実績)

会員拡大事業では、会員100万人達成計画を全国シルバー人材センターの目標に一役を担うべく努力したが、前年度末と同数の223人となった。会員の平均年齢も上昇していることから今後、会員の拡大が重要課題である。

次に、収益の根幹をなす受託事業収益は当初目標に対して約98%の94,099,049円となった。家庭からの受注は減収となったが、公共及び民間事業所受注が伸びたため当初予定に見合う実績を上げることができた。

労働者派遣事業の派遣手数料収益では、派遣事業による就業開拓を行った結果、取扱手数料が予定を上回る1,215,449円となった。

受け取り補助金では、連合会交付金運営費 5,741,000円、サポート事業 2,800,000円及び町からの補助金運営費にかかるもの 5,741,000円、託児事業 1,805,000円及びサポート事業 995,000円等、これらを主な財源として公益事業を実施した。

公益目的事業会計決算では、経常収益計 120,003,645円、経常費用計 119,580,196円で、経常収支は 423,449円となり、決算額当期一般正味財産増減額は 423,448円増加、公益目的事業会計及び法人会計の正味財産期末残高は 17,258,865円となった。

公益法人認定法に定める予算の収支相償の概念は公益目的事業について、収入が事業実施に要する適正な費用を超えてはならないとされていることから概ね良好な執行となっている。

※ 収支相償 公益法人認定法が規定する公益法人が行なう公益目的事業について、収入がその実施に要する適正な費用を超えてはならない。

契約金額、就業率等の推移

| | 令和元年度目標 | 令和元年度実績 | 平成 30 年度実績 | 前年度比較 |
|-------------------------|---------|---------|------------|-------|
| 会 員 数(人) | 244 | 223 | 223 | 0 |
| 受託事業収益(千円) *派遣手数料を除く | 96,000 | 94,099 | 93,530 | 569 |
| 就業延人員(人) | 17,000 | 16,319 | 16,829 | △510 |

(事業実施状況)

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

1 就業開拓提供等事業

(1) 受託事業(一般)

高齢者(会員)が就業をとおして生きがいの充実と自らの健康保持に資するとともに、活力ある地域づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を家庭、民間、官公庁から有償で引き受け、希望と能力に応じて仕事を会員に提供してきました。

受注した仕事の配分については、内容を可能な限り高齢者に周知させ、その上で高齢者の希望と能力等に応じて公平に就業の提供を行う。

現行の福祉・家事援助サービス事業（さわやかサポート事業）の受注は減少傾向であったが、「親孝行代行サービス」を見据えた事業運営に取り組んだ。

① 令和元年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員 | 就業率 | 契約金額 |
|-------|----------|-------|----------|
| 156人 | 13,882人日 | 79.4% | 83,537千円 |

② 主な就業分野

- ・官公庁、企業、一般家庭等の除草、剪定等
- ・企業、事業所等における屋内外の軽作業
- ・公共施設の管理業務
- ・空家管理
- ・福祉家事援助サービス事業、託児事業「あいあい」

(2) 受託事業（業務委託）

業務の受託事業では、平成27年4月1日より5年間、総合福祉会館の指定管理者の指定を受けており、令和元年度も指定管理にかかる会館の管理業務と併せ、付随するかんだ号運行管理業務また子育て支援ひろばの受付業務を受託し、会員に広く就業機会の提供を行った。

① 令和元年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員 | 就業率 | 契約金額 |
|-------|---------|------|----------|
| 21人 | 2,437人日 | 9.4% | 10,562千円 |

② 主な就業分野

- ・総合福祉会館指定管理業務
清掃管理業務、当直業務、受付業務
- ・子育て支援ひろば受付業務
- ・かんだ号運行管理業務

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務の範囲において就職を斡旋する事業で、職業安定機関と連携し、雇用情報等の収集、情報交換を行うものであるが利用者は無かった。

2 労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める多様な就業により人手不足分野における臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務の範囲において労働者派遣事業を推進し高齢者の就業機会の拡充・提供に努めた。

労働者派遣事業に係る業務については、連合会と「労働者派遣事業実施に関する協定」に基づき随時事業相談を行い、幅広い就業分野の開拓に努めた。

令和元年度は新たに2事業所と契約が交わされ、事務手数料7%の

1, 215, 449円の労働者派遣事業業務受託収益を得た。

① 令和元年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員 | 構成比率 | 派遣業務受託収益 |
|-------|---------|-------|----------|
| 27人 | 4,559人日 | 12.1% | 1,215千円 |

② 主な就業分野

- ・ 廃プラの中の金属除去業務（工場内軽作業）
- ・ 病院施設の草刈・剪定等環境管理及び営繕業務
- ・ 通所リハビリテーション送迎業務（車の運転）
- ・ 患者送迎業務（車の運転）
- ・ 荷捌き付帯業務（運輸関係）
- ・ 食品等の配達業務補助
- ・ ホテルの調理業務

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供・研修・講習、相談、助言等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ・ シルバー事業の基本的理念・システムや事業内容を広く地域に周知を図ることによって、会員の拡大また就業の拡大を目的とし、町の公民館まつり（2館）イベント時に焼き芋販売で参加し、地域交流をするとともに、チラシ、啓発グッズの配布でシルバー事業をアピールした。
- ・ 町内の区長をお願いして会員募集のチラシを配布・回覧をお願いし会員拡大の啓発を行なった。
- ・ 町広報紙「広報かんだ」の活用や荻田商工会議所の発行する広報紙に会員の募集記事また仕事の募集記事を掲載した。

(2) 社会参加活動

- ・ 会員互助会によるボランティア活動は啓発月間中の10月23日に好天に恵まれ、公園2箇所の樹木の剪定（富久公園）及び除草等（磯浜公園）の環境整備に会員34名が汗を流し、シルバー事業の啓発を行なった。

(3) 地域交流活動

- ・ 10月20日、「海」をテーマに開催された町の子どもフェスティバルでは、会員手づくりの『あそびの広場』で参加し、託児事業を始めシルバー事業の啓発活動を行なった。
- ・ 町の「公民館まつり」（2館）では、5年目となる焼き芋で人集めし啓発活動を行なった。令和元年度は採算性や販売方法等の未整備のため独自事業にはいたらなかったが啓発事業と絡めて今後は検討していく。

2 安全・適正就業推進事業

- ・ 安全就業に関しては安全パトロール、石飛防止ネット対策等によりシルバー保険に係る傷害保険適用事故は0件、賠償保険適用0件、その他シルバー保険1件（昨年度5件）の発生となった。今後とも「安全は全てに優先する」を念頭に職員、会員の安全意識の高揚を図り災害ゼロを目指す

3 相談事業

- ・ 地域の高齢者の就業相談では、町の広報紙に掲載し呼びかけ、入会説明会を月1

回実施してきた。その中で、「このような仕事で会員を募集しています。」と言った募集方法には多くの応募があったことから、今後広報紙への掲載方法を検討していくこととした。

4 研修・講習会

- ・ 派遣元責任者講習（2名）職業紹介責任者講習（1名）を受講
- ・ 各職群でより良いサービスの提供また、安心して施設を利用していただくために各職群でミーティングを実施した。
- ・ 指定管理にかかる福社会館の管理業務に携わる会員を対象に消火訓練及び避難訓練を実施した。
- ・ 託児事業及び子ども広場事業での就業会員を中心に、安全に利用できるように不審者対策や災害から身を守る訓練等を逐次行なってきた。託児事業また子ども広場受付会員を対象とした感染症対策の予防のための講習会を実施した。
- ・ ハウスクリーニング講習会を実施、洗剤の知識や効果的な清掃作業方法を学び大変有意義な講習会であった。
- ・ 福岡県シルバー人材センター連合会主催による子育て・福祉・家事援助サービス事業に対する体験発表会に北九州ブロックを代表として参加した。